

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実施 判定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費		4	有効性評価			
内 人件費	5	効率性評価							
1	501001010	各種協議会と連携し、幹線道路等の渥美半島での必要性の認識を高め、地元・関係機関と相互に協力、調整をとりながら整備の早期実現を図る。	19,936,562	○	事務事業評価		広域幹線道路の整備状況等を把握し、効果的な要望活動等に結び付けるため、研修会や現地視察など調査・研究を継続していく必要がある。関係市町、関係機関、市内関係部署との連携を密にし、広域幹線道路の早期整備に向けた計画確立が課題となっている。	渥美半島の防災面の課題に早期に対応するため、現道の機能強化を軸とした一般道整備の具体化に向け、国・県と連携し検討を行った。	伊良湖クリスタルライン(強靱で信号のない道路)の早期整備のため、県・市連携のもと、一般道の機能強化に最優先で取り組む。
	交通基盤の整備		634,383		1	都市建設部 建設課			
	広域幹線道路整備促進事業		19,302,179		2	大羽 剛			
			11,836,501		3	極めて高い			
			867,626		4	極めて高い			
10,968,875	5	高い							
2	501002010	市民生活や産業活動において重要な都市基盤である市内幹線道路の道路交通における利便性、安全性、快適性等の向上を図るため計画的な整備を行う。	114,654,140	○	事務事業評価		交通量が多く、交通弱者の安全確保が急務であり、且つ国土強靱化を図るうえで機能向上が必須な1・2級市道は、国費補助等を活用しながら集中的・計画的に道路改良を推進する必要がある。このため、田原市道路整備プログラムに基づく優先路線の整備を推進している。	市道上八軒家井戸沢線外1路線、市道下畑波瀬北線及び市道権亟地猿田線において、車道幅員の確保や歩道整備など交通環境整備を図った。	公共施設整備に係る周辺道路整備の着実な推進を図る。また、課題解消に向けた道路整備プログラムに基づく整備を推進し、安全な道路環境の確保や国土強靱化に取り組む。
	交通基盤の整備		104,368,274		1	都市建設部 建設課			
	幹線道路整備事業		10,285,866		2	大羽 剛			
			136,547,402		3	高い			
			114,606,526		4	高い			
21,940,876	5	高い							
3	501002020	老朽化や道路、河川改修に伴う橋りょうの改修を行い、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。	69,967,287	○	事務事業評価		老朽化や道路、河川の拡幅整備に伴い架け替えが必要な橋りょうについて、関係者と調整を図りつつ計画的に整備を推進する必要がある。	市道東ヶ谷東新田線道路拡幅に伴う木ノ下橋架け替えを行った。また、準用河川大水川河川拡幅に伴う広野二号橋架け替え工事に着手した。	老朽化等に伴う橋りょう整備に関し、関係者と綿密に調整を行うことにより、交通の混乱を避けながら計画的な事業の進捗を図る。
	交通基盤の整備		65,367,500		1	都市建設部 建設課			
	橋りょう整備事業		4,599,787		2	大羽 剛			
			106,943,860		3	高い			
			99,407,390		4	高い			
7,536,470	5	高い							
4	501002030	愛知県が実施する公共事業に必要な事業用地の円滑な取得を図る。	3,115,197	○	事務事業評価		事業用地を円滑に取得するため、県用地課との連携を強化し、交渉期間短縮に努めている。十分な県予算の確保が困難なため、適宜県に事業間調整を依頼する等、限られた予算での効率的な用地取得を要する。	交渉状況に応じ必要な予算要望を行う等、県用地課との連携を強化したことにより、一般国道42号、一般国道259号、都市計画道路田原中央線の効率的な用地取得を行った。	主要地方道豊橋渥美線関連の用地取得の完了を目指すと共に、一般国道42号及び一般国道259号の事業用地の円滑な取得を図る。また、効率的な用地取得のため、県に対し引き続き必要な予算要望を行う。
	交通基盤の整備		215,160		1	都市建設部 建設課			
	事業用地取得事務 (国県道)		2,900,037		2	大羽 剛			
			6,751,510		3	高い			
			215,160		4	高い			
6,536,350	5	普通							
5	501003010	安心・安全な生活環境の改善を図るため、地域からの要望をもとに、緊急性、事業効果等を考慮して必要性の高い生活道路から整備を行う。	187,613,876	○	事務事業評価		地域からの多くの改良要望に対し、緊急性や事業効果など適切な評価に基づく道路整備計画を立案しており、これに基づく計画的な対応を図る必要がある。	自転車・歩行者の安全確保、生活環境の改善を図るため市道南郷北郷線、市道井戸瀬古大原西線、市道東ヶ谷東新田線外1路線の道路拡幅整備を行った。	地域要望に対し、予算規模等も踏まえながら、緊急性や投資効果など評価基準に基づき優先順位を検証するとともに、事業効果の早期発現を目指し、整備計画を立案し計画的に整備を進める。
	交通基盤の整備		174,504,788		1	都市建設部 建設課			
	道路改良事業		13,109,088		2	大羽 剛			
			307,246,770		3	高い			
			299,503,592		4	高い			
7,743,178	5	高い							
6	501003020	歩行者・自転車等利用者の安全確保、歩行者・自転車空間の快適性の向上及び円滑な自転車交通の確保を図るため、歩道設置等の交通安全施設整備を行う。	40,876,436	○	事務事業評価		通学路交通安全推進協議会からの危険指摘箇所を検証し、安全対策の必要性の高い箇所について早期実施を図る必要がある。また、自転車ネットワーク計画に位置付けられた安全対策等について計画的に推進する必要がある。	優先度の高い通学路の整備、通学路等の交通安全対策工事を行った。また、自転車ネットワーク計画に基づき安全対策として、路面標示整備を行った。	全国的な課題である通学路の安全確保に優先的に努める。自転車ネットワーク路線について、国費補助等を活用して計画的に整備を推進する。
	交通基盤の整備		32,323,500		1	都市建設部 建設課			
	交通安全施設整備事業		8,552,936		2	大羽 剛			
			13,750,623		3	極めて高い			
			9,404,000		4	極めて高い			
4,346,623	5	普通							
7	501003030	道路交通の安全確保及び快適性の向上を図るため、道路舗装長寿命化修繕計画、地元要望をもとに利用頻度の高い路線から、老朽化した道路の舗装修繕及び未舗装道路の舗装新設を行う。	16,878,842	○	事務事業評価		道路交通の安全確保及び快適性の向上を図るため、老朽化した道路の舗装修繕を実施するとともに、長寿命化を図る必要がある。	国庫補助を活用し、舗装修繕工事を行った。	国庫補助を活用し、道路舗装長寿命化修繕計画に基づいた修繕を実施して計画的に施設の長寿命化を図る。
	交通基盤の整備		11,423,500		1	都市建設部 維持管理課			
	道路舗装事業		5,455,342		2	渡會 英樹			
			17,539,937		3	高い			
			12,343,100		4	普通			
5,196,837	5	普通							

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費		4	有効性評価			
内 人件費	5	効率性評価							
8	501003040	災害時の避難及び救急活動に支障をきたすおそれのある4m未満の道路について、建物の建設時にセットバックした部分を整備して狭あい道路の解消を図る。	1,230,747	○	事務事業評価		建築課との連携及び補助事業の広報等を行っているが、補助件数は少ない状況である。今後は申請件数の向上を図る必要がある。	補助制度の説明を事前協議の段階で丁寧に説明することで、事務の効率化を図った。	本事業の利用促進のため、事業者から市民への情報提供体制を整え、申請件数の向上を図る必要があるが、申請件数の減少もあり、事業の見直しも含め今後検討していく。
	交通基盤の整備		440,000		1	都市建設部 維持管理課			
	狹隘道路解消事業		790,747		2	渡會 英樹			
			2,712,569		3	高い			
			1,527,000		4	普通			
1,185,569	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>普通</td>	改善の効果	普通					
9	501004010	境界確定及び相談により判明した官民境界の越境事案について、測量を行い、隣地との土地の整理を行う。	7,416,954	○	事務事業評価		公共用地と民地との境界を測量し、管理区域を明確化することにより、境界トラブルの解消を図ることを目的としている。測量、登記等の事務に相応の時間を要するため、より効率的な事務対応が必要である。	土地を取得する場合の取得対象土地の単価決定について、取得価格算定要領を運用し、事務の効率化を図った。	現場の状況に応じ、土地所有者との適切な調整を実施し、円滑な事務対応ができる体制を整えていく。
	交通基盤の整備		2,663,260		1	都市建設部 維持管理課			
	公有地境界確認事務		4,753,694		2	渡會 英樹			
			7,811,588		3	高い			
			1,920,580		4	高い			
5,891,008	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>普通</td>	改善の効果	普通					
10	501004020	道路法に基づき市道の管理を行い、道路の良好な環境と安全確保に努める。	289,628,641	○	事務事業評価		円滑に道路管理をしていくため、計画的に各種点検等を行い、随時、道路関連の維持修繕計画の見直しを図る必要がある。	道路点検サポートシステムを運用し、道路損傷箇所の早期発見・修繕を行い、道路管理の効率化を図った。また、道路照明灯のLED修繕を行い、道路の良好な環境と安全確保につながった。	計画的に道路施設の各種点検を行い、道路関連の維持修繕計画の見直しを図り、要修繕箇所の早期発見、早期対応に努め、健全な道路環境を維持する。
	交通基盤の整備		257,679,637		1	都市建設部 維持管理課			
	道路管理事務		31,949,004		2	渡會 英樹			
			151,759,321		3	高い			
			119,802,298		4	高い			
31,957,023	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>普通</td>	改善の効果	普通					
11	501004030	公共用地の取得や売却等に伴う各種登記や地籍調査を行う。	6,336,657	○	事務事業評価		令和4年度から開始した国土調査法に基づく地籍調査について、計画的な事業進捗を図る必要がある。	堀切町元畑地区において、地籍調査(E1工程：一筆地調査)を行った。	地震津波被災への備えとして津波想定地域及び浸水被害地域の対策整備範囲における地籍調査を優先的に推進する。
	交通基盤の整備		1,672,821		1	都市建設部 建設課			
	登記事務		4,663,836		2	大羽 剛			
			6,766,673		3	高い			
			1,979,593		4	高い			
4,787,080	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>高い</td>	改善の効果	高い					
12	501004040	市道及び公共用物(道路敷)の老朽化又は緊急を要する構造物の修繕及び主要幹線道路の草刈り等を実施し、交通の安全性・快適性の向上を図る。	412,241,180	○	事務事業評価		地元要望や道路パトロールにより確認された損傷箇所の修繕や、定期的な草刈り等については計画的に実施している。今後は、植栽帯の防草対策や道路清掃車の活用により、草刈作業効率の向上を図ると共に、迅速かつ適正な対応を行う必要がある。	地元要望や道路パトロール及び道路点検サポートシステムにより確認された損傷箇所について、道路交通の安全を確保するため迅速に修繕を実施するとともに、防草対策として、道路清掃車による土砂の撤去や植樹帯の舗装を実施した。	安全で快適な道路環境を実現するため、地元要望や道路パトロールから収集した修繕箇所を計画的かつ迅速に修繕を実施するとともに、道路清掃車による土砂の撤去や植樹帯の防草対策を進めることで雑草の抑制と業務効率の向上を図る。
	交通基盤の整備		361,399,151		1	都市建設部 維持管理課			
	道路維持事業		50,842,029		2	渡會 英樹			
			236,464,063		3	極めて高い			
			176,465,204		4	高い			
59,998,859	5	高い <td>改善の効果</td> <td>高い</td>	改善の効果	高い					
13	501004050	道路等の修繕及び主要幹線道路の草刈等を実施し、交通の安全性及び快適性の向上を図る。	95,580,624	○	事務事業評価		道路利用者の安全性及び快適性を確保するため、道路や道路附属施設の損傷箇所について、迅速な修繕対応を実施する必要がある。また、修繕要望が多岐にわたることから、緊急性や必要性を踏まえた対応が求められている。	道路班による側溝浚渫や修繕を迅速に実施するため、軽バン及び軽トラックを更新したことで、現場への機動力が向上し、迅速な修繕対応と安全な道路環境の維持につながった。	地域から寄せられる修繕要望や道路パトロール等により把握した危険箇所について、緊急性や必要性を十分に精査した上で優先順位を決定し、計画的かつ効率的な道路施設の維持管理を実施する。
	交通基盤の整備		73,590,529		1	渥美支所 市民サービス課			
	道路維持事業(渥美支所)		21,990,095		2	河合 まり子			
			61,118,012		3	高い			
			36,522,381		4	高い			
24,595,631	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>普通</td>	改善の効果	普通					
14	501004060	点検結果に基づき、補修が必要な橋梁等について、修繕計画に沿って修繕工事等を実施し、橋りょう等の長寿命化を図る。	62,123,959	○	事務事業評価		橋りょう定期点検を行い、修繕計画に基づき、老朽化した橋りょうの修繕を推進する。修繕対象橋梁に対して、計画的な修繕の実施が必要である。	国庫補助を活用して、橋りょうの定期点検を実施した。また、橋りょうの個別施設維持管理計画に基づき、橋りょう長寿命化修繕設計を実施した。	橋りょう定期点検を行うとともに、老朽化している橋梁等については、国庫補助を活用し、維持管理計画に基づいた修繕を計画的に実施して施設の長寿命化を図るとともに、将来の維持管理コストの削減に向けて、橋りょうの集約・撤去等を検討していく。
	交通基盤の整備		55,137,500		1	都市建設部 維持管理課			
	橋りょう等維持事業		6,986,459		2	渡會 英樹			
			28,026,351		3	高い			
			18,456,900		4	高い			
9,569,451	5	普通 <td>改善の効果</td> <td>普通</td>	改善の効果	普通					

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費		4	有効性評価			
内 人件費	5	効率性評価							
15	502001010	まちづくりの基盤となる公共交通の確立を目指し、第2次田原市地域公共交通戦略計画に基づき、関係者と連携し各種事業を推進する。	24,705,525	○	事務事業評価		・人口減少やコロナ禍を契機とした生活様式の変化等により公共交通の利用者数が減少したため、更なる利用促進を図る必要がある。	・公共交通を身近に感じてもらうため、バス博士や渥美線博士等の体験教室を実施し、利用促進を図った。また、東三河近隣市町村及び交通事業者と連携し、公共交通イベントを実施した。 ・公共ライドシェア導入に向け、関係団体との調整を行った。	・第3次田原市地域公共交通戦略計画に基づいた施策を実施する。 ・運行事業者や地域等と連携した利用促進策等を企画・立案・実施し、公共交通の維持を図る。 ・公共ライドシェアの導入に向けた実証実験及び本格運行に向け、関係団体と調整を行う。
	公共交通の充実		14,795,838		1	都市建設部 街づくり推進課			
	公共交通推進事業		9,909,687		2	鳥居 伸光			
			15,153,338		3	極めて高い			
			4,113,245		4	高い			
11,040,093	5	普通							
16	502001020	幹線乗合交通(渥美線、伊良湖本線・支線)を補う形でコミュニティバスを運行し、市民の移動を支援する。	123,276,920	○	事務事業評価		・各路線の運行状況を把握し、運行事業者や地域と連携して、コミュニティバスの運行環境を維持する必要がある。 ・バス車両が老朽化しており、更新が必要となっている。 ・中山線について、乗車人数の減少などの課題解決のため、運行方法の見直しが必要となっている。	・運行事業者やコミュニティ協議会へヒアリング等を行い、コミュニティバスが安全に運行できるよう、環境を維持・改善した。 ・利便性の向上のためサンテパルク線と中山線の一部ダイヤを変更した。 ・中山線のデマンド運行実証実験を行った。	・運行事業者やコミュニティ協議会と連携し、利便性の向上と利用促進を図る。 ・老朽化しているバス車両を更新する。 ・中山線は、デマンド運行と定時定路線の曜日別運行とし、交通空白地域の解消を図るとともに、特にデマンド運行の利用促進に取り組む。
	公共交通の充実		115,705,805		1	都市建設部 街づくり推進課			
	コミュニティバス運行事業		7,571,115		2	鳥居 伸光			
			123,336,423		3	極めて高い			
			114,993,437		4	高い			
8,342,986	5	普通							
17	502001030	幹線乗合交通(伊良湖本線・支線)を維持し、市民の移動を支援する。	110,937,452	○	事務事業評価		・路線バスの運行を支援するため、補助金を交付している。 ・路線バスの利用促進を図る必要がある。 ・深刻な運転士不足となっている。	・深刻な運転士不足等により路線の維持が困難となっているため、東三河5市町と豊鉄バスとの持続可能なバス運行に関する連携協定を締結し、相互に連携協力することとした。 ・5市町が補助要件を統一して運行を支援した。	・運行事業者やコミュニティ協議会と連携し、利便性の向上と利用促進を図る。 ・路線バスの運行を支援するため、補助金の交付を継続する。 ・関係市町及び豊鉄バスと連携し、運転士の確保及び利用促進を図る。
	公共交通の充実		104,881,826		1	都市建設部 街づくり推進課			
	地方バス路線支援事業		6,055,626		2	鳥居 伸光			
			136,880,571		3	極めて高い			
			135,111,020		4	高い			
1,769,551	5	普通							
18	502001040	市営公共駐車場が便利かつ安全に利用できるように運営及び維持管理を行い、コンパクトシティの実現及び中心市街地活性化を目指す。	17,779,375	○	事務事業評価		・駅南公共駐車場利用者の増加を図る取組が必要である。	・利用者が快適に駐車場が利用できるよう適切な維持管理に努めた。 ・駅南公共駐車場のチラシの配布やホームページ等により利用促進を図った。 ・精算機上屋の更新工事を行い、雨天時の利用環境の向上を図った。	・駅南公共駐車場の利用促進を継続して行う。
	公共交通の充実		15,472,927		1	都市建設部 街づくり推進課			
	公共駐車場管理運営事業		2,306,448		2	鳥居 伸光			
			25,409,895		3	高い			
			22,664,723		4	高い			
2,745,172	5	普通							
19	503001010	馬草港、泉港、浦南河岸小型船舶係留施設の維持管理を適正に行う。また、県管理施設である樋門の操作業務を地元自治会へ委託し、津波や高潮などに対する安全確保に努める。	56,753,479	○	事務事業評価		良好な港湾施設の維持管理のため、港湾維持管理計画に基づく修繕等を確実に実施する必要がある。また、災害時には、操作員の安全を確保しつつ、迅速に樋門操作を行うことができる体制の整備が必要である。	指定管理による港湾施設の円滑な維持管理を行った。また、樋門操作マニュアルを活用し、適切な管理体制を構築し、災害時に迅速な対応ができるよう努めた。 みなとを核としたまちづくりを推進するため、「みなとオアシス伊良湖」の登録を行った。	老朽化の進む港湾施設について、港湾維持管理計画に基づいた修繕や航路浚渫等を実施していくとともに、指定管理者制度を活用した維持管理を継続する。 樋門管理については、安全で適切な操作が実施できる体制の整備に努める。 港湾機能強化のため、三河湾みなとオアシスの相互連携を検討する。
	港湾・河川・海岸の整備		49,645,143		1	都市建設部 維持管理課			
	港湾管理事業		7,108,336		2	渡會 英樹			
			85,299,059		3	高い			
			73,075,858		4	高い			
12,223,201	5	普通							
20	503002010	排水能力不足による水害の発生を防ぐため、住民の生命・財産を守るうえで重要な河川を優先して整備する。	91,084,924	○	事務事業評価		約半数の準用河川等は断面の容量不足や、老朽化、未整備であり、近年のゲリラ豪雨や線状降水帯、大型台風による被害発生など整備の必要性は非常に高くなっている。	地域の水害発生状況及び準用河川台帳の整理により整備優先度の確認及び検討を推進。 緊急自然災害防止対策事業債を適用し、水害防止対策として、普通河川木ノ下川、準用河川大水川、準用河川弘法川の改修を、集中投資を行い事業進捗を図った。	過去の被害箇所を検証し、必要性の高い水害防止対策を推進する。老朽化対策、治水・防災対策として河川改良を計画し事業推進を図る。
	港湾・河川・海岸の整備		84,367,764		1	都市建設部 建設課			
	河川改良事業		6,717,160		2	大羽 剛			
			125,214,901		3	極めて高い			
			120,887,494		4	極めて高い			
4,327,407	5	高い							
21	503002020	大雨等による災害を未然に防ぐため、土水路及び断面不足の水路を新設及び改良することにより、排水機能の向上を図る。	21,836,735	○	事務事業評価		地域の要望を基に現場の状況を確認し、必要性の高い箇所からの確な対策を講じる必要がある。	地域からの要望に応え、懸案の浸水被害の改善対策として、大久保大新田水路の整備を行い排水機能の向上を図った。	台風などによる過去の被害箇所や地域からの要望を検証し、必要性の高い水害防止対策を推進する。また、県単独土地改良事業補助金を活用し事業進捗を図る。
	港湾・河川・海岸の整備		17,993,800		1	都市建設部 建設課			
	水路改良事業		3,842,935		2	大羽 剛			
			23,221,196		3	高い			
			19,550,000		4	高い			
3,671,196	5	普通							

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)		評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費			1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費			2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)			3	妥当性評価			
			内 直接事業費			4	有効性評価			
内 人件費		5	効率性評価							
22	503003010	洪水、高潮等による水害を防止するとともに、河川の流水機能の維持と河川環境の保全のために総合的な管理を行う。	2,298,235		○	事務事業評価		災害時には、操作員の安全を確保しつつ、迅速に樋門操作を行うことができる体制の整備が必要である。	樋門操作マニュアルを活用し、適正な管理体制を継続するとともに、災害時に迅速な樋門操作ができるよう、地元操作員に操作講習会を行った。	樋門管理については、安全で適切な操作が実施できる体制の整備に努める。
	港湾・河川・海岸の整備		905,394			1	都市建設部 維持管理課			
	河川管理事務		1,392,841			2	渡會 英樹			
			2,376,503			3	高い			
			887,590			4	高い			
1,488,913		5	普通	改善の効果		普通				
23	503003020	市管理河川・水路の護岸や法面等の修繕、堆積した土砂の浚渫及び草刈等を行い、災害を未然に防ぐとともに、河川環境の保全を図る。	60,921,479		○	事務事業評価		市の管理河川・水路等の草刈、修繕、浚渫等を行うことにより、災害を未然に防ぎ、河川環境の保全に努めているが、随時地元より護岸修繕や浚渫等の要望があるため、より迅速な対応を行う業務体制の向上が必要である。	河川・水路等の浚渫等の地域要望に随時対応し、河川等の排水機能の回復を図った。	日常管理や地元との連携を密にし、災害を未然に防ぐため、施設修繕及び浚渫等を計画的かつ迅速に実施する。
	港湾・河川・海岸の整備		51,139,400			1	都市建設部 維持管理課			
	河川維持事業		9,782,079			2	渡會 英樹			
			47,468,505			3	極めて高い			
			35,745,600			4	高い			
11,722,905		5	普通	改善の効果		高い				
24	503003030	市管理河川、水路の護岸等の修繕や堆積した土砂の浚渫、草刈等を行い、災害の未然防止及び河川環境の保全を図る。	65,575,561		○	事務事業評価		市の管理河川及び水路等適正な維持管理を行うため、護岸の修繕、土砂浚渫及び除草を実施することにより、河川環境の保全や大雨時の減災を図る必要がある。	大雨の影響により土砂が堆積した河川等の浚渫を実施し、排水機能の向上を図った。また、河川の適切な維持管理を行うとともに、水浸被害の防止及び地域の安全確保に努めた。	地域との情報共有や日常点検を通じて施設の状況把握に努めるとともに、河川及び水路の修繕、土砂浚渫等を計画的かつ継続的に実施することで、排水機能の維持及び災害の未然防止に努める。
	港湾・河川・海岸の整備		58,403,180			1	渥美支所 市民サービス課			
	河川維持事業(渥美支所)		7,172,381			2	河合 まり子			
			23,722,560			3	高い			
			18,213,580			4	高い			
5,508,980		5	普通	改善の効果		普通				
25	503004010	津波、高潮、波浪などからの被害を防ぐとともに、海岸環境の保全に努め、海岸の適正な利用が行われるよう総合的な管理を行う。	7,384,541		○	事務事業評価		災害時には、操作員の安全を確保しつつ、迅速に樋門操作を行うことができる体制の整備が必要である。	樋門操作マニュアルを活用し、適正な管理体制を継続するとともに、災害時に迅速な樋門操作ができるよう、地元操作員に操作講習会を行った。	樋門管理については、安全で適切な操作が実施できる体制の整備に努める。
	港湾・河川・海岸の整備		4,161,979			1	都市建設部 維持管理課			
	海岸管理事業		3,222,562			2	渡會 英樹			
			7,657,479			3	高い			
			4,110,325			4	高い			
3,547,154		5	普通	改善の効果		普通				
26	504001010	うるおいと活力のあるガーデンシティを実現するため、都市計画法に基づき、まちづくりに関する各種調査や企画、調整及び決定手続を行う。	36,174,271		○	事務事業評価		・改定版田原市都市計画マスタープランに掲げられた事業の検討を継続的に行う必要がある。	・田原市市街化調整区域内地区計画運用指針の見直しを行い、市街地編入候補地の地区計画による開発基盤を整えた。 ・民間宅地開発事業奨励金に市街地編入候補地(田原天白地区と古田地区)を追加するとともに支援を拡充し、開発事業者及び宅地建物取引業者に周知を行った。	・市街地編入候補地について、地区計画の手法による事業の推進を図る。
	市街地の活性化		26,919,816			1	都市建設部 街づくり推進課			
	都市計画推進事業		9,254,455			2	鳥居 伸光			
			13,863,483			3	極めて高い			
			5,374,931			4	高い			
8,488,552		5	普通	改善の効果		高い				
27	504002010	田原市街地において、本市の都市拠点としてふさわしい市街地整備や賑わいの創出を市民と協働で進め、魅力の向上及び活性化を図る。	16,151,562		○	事務事業評価		・田原市街地内にある低未利用地の活用方法を検討する必要がある。 ・市街地の活性化に向けて、まちづくり団体が実施する賑わいづくり活動の支援を行う必要がある。	・田原市街地活性化協議会を開催し、田原市街地内にある未利用地の活用に向けた協議や三河田原駅周辺低未利用地等活用計画を策定した。 ・ラグランや駅周辺を活用したイベント開催等による賑わいづくりに継続して取り組む。 ・市街地の活性化に向けて、まちづくり団体が実施する賑わいづくり活動の支援を継続する。	・田原市街地内にある低未利用地の利活用に向けた検討を行う。 ・ラグランや駅周辺を活用したイベント開催等による賑わいづくりに継続して取り組む。 ・市街地の活性化に向けて、まちづくり団体が実施する賑わいづくり活動の支援を継続する。
	市街地の活性化		9,086,813			1	都市建設部 街づくり推進課			
	田原地区まちづくり事業		7,064,749			2	鳥居 伸光			
			78,436,042			3	高い			
			63,826,893			4	高い			
14,609,149		5	普通	改善の効果		高い				
28	504002020	赤羽根市街地及び周辺において、市民と協働で地域の特色を活かしたまちづくりの整備を実施することにより、市街地の魅力の向上及び活性化を図る。	1,634,681		○	事務事業評価		・市街地の活性化に向けて、まちづくり団体が実施する賑わいづくり活動の支援を行う必要がある。 ・コミュニティ活動と賑わいづくり活動との混同が見られるため、それぞれの活動の明確化を図る必要がある。	・赤羽根地区まちづくり推進委員会の賑わいづくり活動を支援し、地域等と連携した取り組みを行った。	・市街地の活性化に向けて、推進委員会が実施する賑わいづくり活動の支援を継続する。 ・推進委員会が行う賑わいづくり活動の目的を明確化し、組織の見直しを行う。
	市街地の活性化		265,232			1	都市建設部 街づくり推進課			
	赤羽根地区まちづくり事業		1,369,449			2	鳥居 伸光			
			1,991,807			3	高い			
			300,000			4	高い			
1,691,807		5	普通	改善の効果		高い				

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費		4	有効性評価			
			内 人件費		5	効率性評価			
29	504002030	福江市街地において、市民と協働で地域の特色を生かしたまちづくりの検討・整備を実施することにより、市街地の魅力の向上及び活性化を図る。	58,228,772	○	事務事業評価		・民間事業者(あつみの市レイ・あつみ編集者)や各種団体と協力して、市街地拠点としての福江市街地の活性化を図る必要がある。 ・市街地の活性化に向けて、まちづくり団体が実施する賑わいづくり活動の支援を行う必要がある。	・調整会議では、ショップレイ再整備や多世代交流施設建設に向けた相乗効果が発揮されるよう情報共有等を行った。 ・清田・福江校区まちづくり推進協議会の賑わいづくり活動を支援し、地元小中学生や地域と連携した取組を実施した。	・福江市街地の賑わい創出のため、多世代交流施設建設や令和7年2月にリニューアルしたあつみの市レイとの相乗効果を図る。 ・市街地の活性化に向けて、推進協議会が実施する賑わいづくり活動の支援を継続する。
	市街地の活性化		50,655,990		1	都市建設部 街づくり推進課			
	福江地区まちづくり事業		7,572,782		2	鳥居 伸光			
			12,375,189		3	高い			
			910,700		4	高い			
			11,464,489		5	普通		改善の効果	高い
30	504003010	市民との協働による市街化区域の都市基盤形成に向けて、総合的かつ面的に整備する優れた手法である土地区画整理事業を促進するため、田原市組合施行土地区画整理事業助成方針に基づき、現在施行中の浦片地区及び赤羽根地区の事業進捗及び健全な組合運営を支援するとともに、計画地区の事業進捗に向けた検討を行う。	10,134,171	○	事務事業評価		・浦片地区は、企業用地11区画中残り1区画となっている。 ・赤羽根地区の保留地は、住宅用地20区画中残り6区画となっている。	・浦片地区は地元企業等へ広告宣伝等を行い、1区画の企業用地を販売した。 ・赤羽根地区は広告宣伝等を行い、保留地の販売促進を行った。	・浦片地区は、組合解散に向けての手続きを進める。 ・赤羽根地区は、引き続き広告宣伝を行い、保留地の販売活動を行っていく。
	市街地の活性化		1,186,600		1	都市建設部 街づくり推進課			
	土地区画整理推進事業		8,947,571		2	鳥居 伸光			
			10,373,576		3	高い			
			528,760		4	高い			
			9,844,816		5	普通		改善の効果	高い
31	505001010	農村の総合的な振興を図るため、農業生産基盤の整備を行う。また、これと関連をもつ農村の基礎的な生活環境の整備を総合的に実施し、活力と個性のある地域づくりを目指すため、道路、排水路、防災施設及び自然環境・生態系保全施設整備等を行う。	87,265,312	○	事務事業評価		農村地域において、農業生産基盤及び農村の基礎的な生活環境の整備を総合的に実施する必要がある。	大草・高松地区及び東部地区において、地域住民の安心安全、快適な生活環境を確保するため、農道及び集落道の整備工事を実施し事業の推進を図った。	令和7年度で事業完了
	地域・住環境の整備		71,042,568		1	農林水産部 農政課			
	農村振興総合整備事業		16,222,744		2	渡邊 康統			
			119,485,303		3	普通			
			109,890,182		4	普通			
			9,595,121		5	普通		改善の効果	普通
32	505002010	田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会の事業運営を支援し、海岸侵食対策、自然環境の保全と活用、農地の基盤整備、農村環境の改善などについて関係地域の総合的な課題解決を図る。	3,452,238	○	事務事業評価		・啓発事業として「表浜自然ふれあいフェスティバル」の開催、情報誌「潮騒」の発行を支援している。 ・愛知県への要望活動など、海岸侵食防止を中心に、田原市の東部太平洋岸一体の整備促進に努めている。	・表浜自然ふれあいフェスティバルで、各海岸の清掃活動を実施し、環境美化に努めた。 ・田原市西部表浜地域環境整備協議会と同日に要望活動を行い、より効果的な要望活動になるように努めた。	・表浜自然ふれあいフェスティバルを継続的に実施することで、海岸浸食対策や自然環境保全と活用等について、市民への意識啓発に努めていく。 ・協議会と行政が一体となり継続して県への要望活動を行い海岸環境の整備促進を図っていく。
	地域・住環境の整備		400,000		1	企画部 企画課			
	東部太平洋岸総合整備促進事業		3,052,238		2	平井 堅一郎			
			3,677,098		3	高い			
			400,000		4	高い			
			3,277,098		5	普通		改善の効果	普通
33	505003010	少子高齢化・人口減少社会に対応した居住環境の整備を図るため、公的宅地の供給を行うことにより市内への定住を誘導し、安全で住みやすいまちづくりを推進する。	62,490,739	○	事務事業評価		・住宅地分譲(シーサイド田原光崎)の令和7年度当初の残区画は、10区画となっている。 ・若者・子育て世代の市内定住・移住促進を図るため、定住・移住促進奨励金の交付による住宅取得支援を実施している。	・「第2次田原市住生活基本計画」を策定。 ・住宅地分譲は、例年の宣伝活動に加え、昨年度より範囲を拡大しポスティングを実施したが販売には至らなかった。 ・定住・移住促進奨励金は、ハウジングセンターでのチラシ配布など積極的な周知を行ったことで、85件の交付実績となった。	・第2次田原市住生活基本計画策定の際行ったアンケート結果等を参考に効果的な宣伝手法を検討する。 ・田原市定住・移住促進奨励金制度を継続するとともに、ターゲット層に対して直接的に訴求できる制度周知を行うことで、若者・子育て世代の定住・移住促進を図る。
	地域・住環境の整備		41,495,306		1	都市建設部 住宅政策課			
	居住環境整備推進事業		20,995,433		2	小久保 義則			
			46,276,797		3	高い			
			29,558,909		4	高い			
			16,717,888		5	普通		改善の効果	普通
34	505003020	住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な市営住宅を供給することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。特定公共賃貸住宅、若者向け住宅等良質な賃貸住宅を求める中堅所得者層に住宅の供給を図り、市民生活の向上を図る。現に市営住宅に入居している市民の居住の安定と居住水準の向上を図る。	65,401,822	○	事務事業評価		・市営住宅の設備等の細かな不具合が多発し修繕費が年々増加している。 ・常習性のある家賃滞納者について、期限内納付の意識を高める必要がある。 ・公営住宅では、ファミリー向け住戸に多くの空き室がある一方でシルバーハウジングや単身向け住戸は入居待ちがある。	・家賃滞納者には、訪問、電話、文書による催告等の滞納改善指導に努めるとともに、弁護士への債権回収委託を継続し、滞納額の減少に努めた。 ・空き室を有効活用し、入居待ちの減少に繋がる方策を検討。	・家賃滞納者に対し、債権管理条例等に基づく適切な対応を実施するとともに、弁護士への債権回収委託を継続し、収納率の向上や公平性の確保を図る。 ・条例改正や規則改正により入居要件を緩和し、住宅確保要配慮者がより入居しやすくなるようにする。
	地域・住環境の整備		40,827,993		1	都市建設部 住宅政策課			
	市営住宅管理事業		24,573,829		2	小久保 義則			
			65,872,123		3	高い			
			43,630,193		4	高い			
			22,241,930		5	高い		改善の効果	普通
35	505003030	市営住宅の長寿命化と適切な改修工事等により、入居者が安心して生活できるように住環境の整備を行い、市民の居住の安定と居住水準の向上を図る。	50,548,860	○	事務事業評価		・多くの市営住宅が建築から30年以上経過し、老朽化が進む中、空き室も多いため、統廃合も含めた今後のあり方を検討し、その方向性に基づき長寿命化計画の見直しが必要。 ・雨漏りによる計画の前倒しや経年劣化による設備の故障が増加。	「第2次田原市住生活基本計画」の策定に伴い、今後の市営住宅の適正管理・再編・改修・更新等の方向性を決定した。 ・既存市営住宅の施設の改修として、給水加圧ポンプ取替工事、避難器具取替工事等を実施した。	・令和8年3月に策定した「第2次田原市住生活基本計画」に基づき、必要な供給戸数を適切に維持していくため、田原市市営住宅長寿命化計画を見直し、適正管理に努める。
	地域・住環境の整備		47,064,600		1	都市建設部 住宅政策課			
	市営住宅整備事業		3,484,260		2	小久保 義則			
			12,381,850		3	極めて高い			
			8,949,600		4	高い			
			3,432,250		5	高い		改善の効果	普通

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)		
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名					
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名					
			R7決算額(円)		3	妥当性評価					
			内 直接事業費		4	有効性評価					
			内 人件費		5	効率性評価					
36	505003050	空家等対策の推進に関する特別措置法、田原市空家等の適正管理に関する条例、田原市空家等対策計画に基づき、空き家関連施策を推進することにより、市民の良好な生活環境の確保、定住人口の誘導を行う。	22,704,506	○	事務事業評価		・空き家等の利活用を促進するとともに、適切な管理が行われていない老朽・危険空き家への解体補助を行うなど、多方面からの空き家対策を実施している。 ・これまでに実施してきた空き家の利活用支援及び除却支援により、一定の効果が認められるものの、市内には空き家が未だ多く残っている。	・空き家の利活用と除却の促進を図った。 (改修費補助5件、片付け費補助2件、手続費補助10件、危険空き家解体補助4件、老朽空き家解体補助10件) ・改正空家特措法への対応、及び本市の空き家に関する課題解決を図るため、第2次田原市空家等対策計画を策定した。	・令和8年3月に策定した「第2次田原市空家等対策計画」に新たに位置付けた基本理念「総合的な空き家等対策の推進による市民の生活環境の保全と安心・安全な暮らしの確保」の実現に向けて、新たに定めた6つの基本施策に基づく取組を着実に進めていく。		
	地域・住環境の整備		11,556,392		1	都市建設部 住宅政策課				改善の効果	高い
	空き家対策事業		11,148,114		2	小久保 義則					
			27,268,545		3	極めて高い					
			7,704,634		4	高い					
19,563,911		5	高い								
37	506001010	事業運営に必要な費用を水道利用者から徴収し、水道事業の安定経営を図る。事業運営に必要な専門的知識を持った人材の育成および確保を図る。	83,260,843	○	事務事業評価		・給水人口や使用水量が減少する一方、物価高による経費の上昇により、事業運営は厳しさを増している。 ・老朽施設の更新や耐震化などの取組を適切に進めるため、人材の育成、財源の確保が必要である。	・給水停止の早期対応を継続して行い、収納率の向上を図った。 ・職員に水道技術管理者研修を受講させ、人材の育成を図った。 ・RPAやロゴフォームなどDXを導入した。 ・技術派遣制度を活用し、職員の育成を図った。	・業務の広域連携等の検討など業務の効率化に取り組む。 ・適正な水道料金水準について定期的に検討する。 ・研修及び技術派遣制度などを活用し、専門的知識を持った人材の育成を図る。		
	上下水道の充実		41,244,442		1	上下水道部 水道課				改善の効果	普通
	水道経営事務		42,016,401		2	林田 雅文					
			76,368,142		3	極めて高い					
			37,447,416		4	高い					
38,920,726		5	高い								
38	506001020	安定した水道水確保のため、水道料金の一部を活用して水源林の保全を図る。	6,680,534	○	事務事業評価		・水源林の必要性についての啓発、森林づくり及び間伐事業の推進を図る。	・森林づくり事業、間伐事業を実施する豊川水源基金に負担金を拠出し、良好な水源林の涵養に寄与した。 ・設楽ダムに係る水源地域の振興を図るための事業推進に寄与した。	・負担金を拠出し、水源林の保全を図る。 ・令和16年度の設楽ダム完成に向け、水源地域の振興を図る事業等に要する経費を助成する。		
	上下水道の充実		6,670,906		1	上下水道部 水道課				改善の効果	普通
	水源林保全流域協働事業		9,628		2	林田 雅文					
			6,636,235		3	極めて高い					
			6,626,086		4	高い					
10,149		5	普通								
39	506002010	水道施設の点検・管理、水質検査、漏水修繕などにより、安全な水道水を安定的に供給する。	721,566,868	○	事務事業評価		・安全な水道水の安定供給を行うため、水道施設の点検・管理、水質検査を実施している。 ・有収率向上のため、施設管理等の効率化を図るとともに、漏水の早期発見及び修繕が必要である。 ・水道施設の老朽化への対策が必要である。	・長期間にわたる異常漏水への対策を行った。 ・音調調査による漏水調査、漏水箇所の修繕を行うとともに、衛星画像解析を用いた漏水調査を市内全域で行い、業務の効率化を図った。 ・施設点検結果から早急に修繕を行った。	・老朽管の改修、漏水調査の実施および早期修繕、放流量の調整など有収率向上に向けた取組を行う。 ・衛星画像解析により漏水の可能性がある171箇所について現地調査及び修繕を実施する。 ・上水道DXの活用について検討し、業務の効率化を図る。		
	上下水道の充実		705,585,047		1	上下水道部 水道課				改善の効果	高い
	水道施設管理事業		15,981,821		2	林田 雅文					
			742,534,953		3	極めて高い					
			715,060,562		4	高い					
27,474,391		5	普通								
40	506002020	管路の耐震化や水道施設の更新などにより、安全な水道水を安定的に供給するための基盤を整備する。	871,919,198	○	事務事業評価		・基幹管路の耐震化や水道施設の計画的な更新、新設、承認工事による水道水の安定供給のための基盤整備が必要である。 ・交付金制度等が変更されたことにより、年度当初で交付金確保ができない。 ・施設の老朽化が進み大量更新の時期を迎えている。	・水道事業基本計画に従い、基幹管路の耐震化及び老朽管の更新をした。 ・関係機関の実施する工事と調整を行い、効率的に工事を行った。 ・国の交付金を積極的に活用するため、当初予算に加え、補正予算を要望し、繰越事業で実施した。	・水道事業基本計画を基に、施設の耐震化・更新・改良・統廃合・ダウンサイジング等を進め、施設の最適化を図る。 ・水道設備更新計画を基に、老朽化した設備を計画的に更新する。 ・施設整備を加速させるための検討を行う。		
	上下水道の充実		836,364,252		1	上下水道部 水道課				改善の効果	普通
	水道施設更新整備事業		35,554,946		2	林田 雅文					
			458,519,313		3	極めて高い					
			440,046,488		4	高い					
18,472,825		5	普通								
41	506002030	施設の点検・管理、水質検査等を行い、異常漏水時の飲料水確保及び地震等災害時の家庭用雑用水確保を図る。	4,603,986	○	事務事業評価		・非常時における飲料水等確保のため、緊急水源の維持管理を行う。 ・災害や漏水時等において、速やかな緊急対応ができるマニュアルが必要である。	・適正な管理を行うとともに、異常漏水時において飲料用の緊急水源として初めて活用した。施設の整備点検等を行った。	・引き続き適正な管理を行う。 ・今回の異常漏水対応の流れやプロセスを取組ガイドとし、次回の異常漏水に活用していく。		
	上下水道の充実		4,104,435		1	上下水道部 水道課				改善の効果	普通
	緊急水源井戸維持管理事業		499,551		2	林田 雅文					
			3,625,399		3	高い					
			2,228,080		4	高い					
1,397,319		5	普通								
42	506003010	事業経営の安定化に向け、適正な使用料の徴収や経費削減、水洗化率の向上により、財源の確保を図り、下水道事業の適正かつ健全な運営を行う。	124,755,491	○	事務事業評価		・人口減少による使用料収入の減少や老朽化した施設・設備の更新など事業運営が厳しくなる中、接続率の向上及び業務の効率化を図る。 ・適正な下水道使用料の検討を行い、財源の確保を図る。	・接続率の低い地区の未接続世帯に対して接続推進の啓発を行った。 ・粘り強く滞納整理を継続して行うことにより、過年度分の受益者負担金等の未納額が減少した。	・引き続き未接続世帯に対し啓発を行い接続率の向上を図る。 ・下水道使用料改定について、引き続き、適正な使用料や改定の必要性について検討を継続する。		
	上下水道の充実		70,134,597		1	上下水道部 下水道課				改善の効果	高い
	下水道運営事業		54,620,894		2	平井 康友					
			295,016,930		3	高い					
			268,231,739		4	高い					
26,785,191		5	普通								

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
			内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
事務事業名			内 直接事業費	4	有効性評価				
			内 人件費	5	効率性評価				
43	506004010	生活環境の向上や公共用水域の水質保全を図るため、下水道施設の適正な維持管理を行う。 雨水の適正な排除を行うため、雨水ポンプ場及び雨水排水路等の維持管理を行う。	707,717,970	○	事務事業評価		・施設及び機器の老朽化が進んでいるため、計画的な維持管理による延命化を図り、施設の機能を維持していく必要がある。 ・農業集落排水の汚泥処理については、人口や農業従事者の減少により処理組合での対応が難しくなっていることから、新たな資源循環の仕組みの構築を図る必要がある。	・公共下水道、雨水排水及び農業集落排水の各施設は、専門業者に委託し、施設維持について適切に管理した。 ・設備機器の計画的な改修を実施し、施設の機能を保持できた。 ・農業集落排水汚泥の新たな資源循環の仕組みを検討し、処理方法見直しを行った。 改善の効果	高い
	上下水道の充実		685,326,031		1	上下水道部 下水道課			
	下水道施設維持管理事業		22,391,939		2	平井 康友			
			704,597,247		3	高い			
			681,062,470		4	高い			
23,534,777	5	高い							
44	506004020	老朽化した施設を更新するとともに、耐震化や津波対策を進め、機能の維持、適正管理を図り、公共用水域の水質保全を目指す。また市街地の排水不良地域において、浸水が発生しないように努める。	2,047,118,171	○	事務事業評価		・施設及び機器の老朽化が進んでいるため、長寿命化計画や機能強化対策に沿って、効率的に事業促進を図る必要がある。 ・不明水対策や施設の統廃合を進めることにより、管理費用の圧縮を図る必要がある。	・ストックマネジメント計画(施設の長寿命化及び費用の平準化対策)について、管路施設の更新に向けた計画を改定し、国の承認を得た。 ・老朽化施設を更新し、農業集落排水施設は和地、百々処理区の機能強化工事を行った。 改善の効果	普通
	上下水道の充実		2,032,550,559		1	上下水道部 下水道課			
	下水道施設整備事業		14,567,612		2	平井 康友			
			1,961,260,536		3	高い			
			1,952,399,203		4	高い			
8,861,333	5	普通							
45	506005010	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、便槽式トイレ及び仮設トイレの生し尿を収集する。し尿及び浄化槽汚泥の適正な処理を行うとともに施設の安全かつ適正な維持管理に努める。	66,393,285	○	事務事業評価		・し尿収集業務は市民生活に不可欠であるため、引き続き円滑に実施していく。 ・適正なし尿処理手数料の検討を行い、財源の確保を図る。	・し尿の汲取り業務の受付から汲取り作業、し尿等受入施設への投入までについて、これまで市の直営から民間委託へ移行した。 改善の効果	高い
	上下水道の充実		45,859,144		1	上下水道部 下水道課			
	し尿収集処理運営事業		20,534,141		2	平井 康友			
			81,691,210		3	高い			
			71,784,613		4	高い			
9,906,597	5	普通							
46	507001010	市民との協働により地域の里山を保全するとともに、里山の保全に関する知識・技能を習得した人材の育成を図る。	3,592,416	○	事務事業評価		・「たはら里山の会」による里山保全スキルアップ研修会を毎月開催している。 ・高齢等の理由により「たはら里山の会」の会員数が減少している。 ・里山保全活動団体の自立、人材育成が必要である。	・里山づくりの人材育成のため、里山アドバイザー養成講座を実施した。(修了16名) ・スキルアップ研修会の継続及び視察研修を実施し、会員の技術向上が図られた。 ・市民緑花まつりに参加し、「たはら里山の会」の活動をPRすることができた。 改善の効果	普通
	自然環境の保全		1,954,000		1	都市建設部 街づくり推進課			
	里山保全推進事業		1,638,416		2	鳥居 伸光			
			2,466,352		3	普通			
			114,220		4	普通			
2,352,132	5	普通							
47	507001020	東三河地域の森林について、豊川流域市町村が全体で守っていくため、愛知県森林協会の森林振興に対する諸活動へ負担金を拠出する。また、松くい虫被害により枯死した地域の松を復元するため、抵抗性松の配布を行うとともに、松くい虫防除対策を行い、被害の拡散防止や林帯の再生を図る。	30,194,825	○	事務事業評価		松くい虫等により機能の低下した松林(保安林)等の早期再生と、現存する保安林の効果的な保全管理が必要である。	国の補助金を活用し、松枯れの原因となるセンチュウを媒介する昆虫駆除事業を実施し、保安林の維持を図った。また、被害木の伐倒により、媒介昆虫の駆除に努め、被害拡大を防いだ。 地元と小学校の協力の下、抵抗性松の植樹を行い、森林(保安林)の回復を図った。 改善の効果	普通
	自然環境の保全		26,161,910		1	農林水産部 農政課			
	森林整備事業		4,032,915		2	渡邊 康統			
			33,414,344		3	高い			
			28,828,585		4	普通			
4,585,759	5	普通							
48	507002010	動植物の保護及び生息調査を行うことにより、動植物の保全を図る。 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化を図り、もって生物の多様性の確保を図る。特定外来生物を駆除し、その生息域の拡大を防止し、生活環境と生物多様性の保全を図る。	24,033,254	○	事務事業評価		・アカウミガメの保護団体が行う保護・調査活動を支援している。人員不足により調査活動が広域展開できない。 ・田原市アルゼンチンアリ対策協議会への補助金を交付している(補助率10分の10)。市民、行政が一体となって防除を実施し、絶対数は減らせているものの根絶には至っていない。	・協議会によるアルゼンチンアリの一斉防除を実施し、生活環境被害の低減、生息域の拡大抑制等の効果が確認された。 ・重点防除区域(加治・赤石地区)を設定し、重点的に防除を行い、生息範囲、個体数の減少が確認された。 改善の効果	高い
	自然環境の保全		13,656,893		1	市民環境部 環境政策課			
	動植物保全対策事業		10,376,361		2	宮本 実佳			
			24,506,318		3	高い			
			14,752,336		4	高い			
9,753,982	5	高い							
49	508001010	美しい渥美半島を次世代に継承するため、田原市の優れた景観資源を活かした景観施策を実施するとともに、普及・啓発等を行う。	14,477,520	○	事務事業評価		・団体等が取り組む景観に配慮したまちづくり活動に対する支援を行っている。 ・良好な景観形成及び景観を活用したまちづくりを進めていくため、景観行政の方向性を整理していく必要がある。	・第2次景観基本計画(概要版)を作成し全戸配布した。 ・団体が取り組む景観まちづくり活動に対する支援を行い、住民主体の景観形成に取り組んだ。 ・谷熊・堀切地内の花壇を整備した。 改善の効果	高い
	緑と景観の保全		5,991,195		1	都市建設部 街づくり推進課			
	景観形成推進事業		8,486,325		2	鳥居 伸光			
			10,931,173		3	高い			
			3,332,882		4	高い			
7,598,291	5	普通							

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実施 判定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
			内 直接事業費		4	有効性評価			
			内 人件費		5	効率性評価			
50	508002010	市民の緑化への関心を高めるとともに、市民との協働により市内の緑化を推進し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指す。	30,206,414	○	事務事業評価		・緑化推進委員による花壇コンクールの審査を実施している。 ・沿道花壇、奨励花壇の個所数及び面積は微減の状況である。	・市民緑花まつりを開催し、幅広く、市民が花や緑に触れ合う機会を創出することができた。 ・世界に誇れる花のまち実現の一環として沿道の植栽を行った。	・市民緑花まつり等のイベントでのチラシ配布、市の広報媒体などを活用し、花壇登録制度の周知を図るとともに、「世界に誇れる花のまち」を市内外に発信していく。
	緑と景観の保全		22,354,640		1	都市建設部 街づくり推進課			
	緑化推進事業		7,851,774		2	鳥居 伸光			
			36,033,304		3	高い			
			24,646,367		4	高い			
			11,386,937		5	高い	改善の効果	普通	
51	508002020	緑花センターにおいて奨励花壇、沿道花壇及び公共花壇へ定植する花苗を生産し、うるおいと活力のあるガーデンシティを目指すし、花いっぱい運動を展開する。	30,685,545	○	事務事業評価		・直営花壇の除草等、管理方法の検討改善が必要である。	・花苗の生産・配布及び定植を行い、市の景観向上を図った。	・育苗に関する専門性を高める。 ・景観や維持管理等の観点から直営花壇の配置を見直し、効率的な管理運営を図る。
	緑と景観の保全		12,010,316		1	都市建設部 街づくり推進課			
	緑花センター運営事業		18,675,229		2	鳥居 伸光			
			33,183,844		3	高い			
			12,403,368		4	高い			
			20,780,476		5	高い	改善の効果	高い	
52	508003010	市民のレクリエーション活動の場づくり、生活環境の保全、防災機能の向上及び良好な都市景観を形成するため、公園や緑地を整備する。	82,556,045	○	事務事業評価		・潤いある生活環境や良好な都市景観の保全等のため、公園・緑地の整備や管理を行う必要がある ・中央公園の未整備区域の活用を図る必要がある。	・滝頭公園の照明器具改修(LED化)工事等を実施した。	・各地区にある公園の照明器具改修(LED化)工事を進める。 ・施設の老朽化が進んでいるため修繕更新を検討する必要がある。
	緑と景観の保全		75,626,692		1	都市建設部 街づくり推進課			
	公園緑地整備事業		6,929,353		2	鳥居 伸光			
			77,376,063		3	高い			
			65,821,577		4	高い			
			11,554,486		5	普通	改善の効果	普通	
53	508004010	滝頭公園の維持管理を指定管理委託し、民間の力を活かし、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	27,303,171	○	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・老朽化した設備の修繕及び定期的な除草・樹木の剪定作業等を行い、利用者の利便性向上が図られた。	・利用者が安心して利用できる公園を目指して、適切な維持管理を行う。
	緑と景観の保全		26,122,682		1	都市建設部 街づくり推進課			
	滝頭公園管理事業		1,180,489		2	鳥居 伸光			
			26,940,871		3	高い			
			26,123,048		4	高い			
			817,823		5	高い	改善の効果	普通	
54	508004020	白谷海浜公園の維持管理を指定管理委託し、民間の力を活かし、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	26,923,305	○	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・老朽化した設備の修繕及び定期的な除草・樹木の剪定作業等を行い、利用者の利便性向上が図られた。	・利用者が安全かつ安心して利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。
	緑と景観の保全		25,748,531		1	都市建設部 街づくり推進課			
	白谷海浜公園管理事業		1,174,774		2	鳥居 伸光			
			26,497,313		3	高い			
			25,750,703		4	高い			
			746,610		5	高い	改善の効果	普通	
55	508004030	緑が浜公園及び緑が浜2号緑地の維持管理を指定管理委託し、民間の力を活かし、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	14,621,090	○	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・老朽化した設備の修繕及び定期的な除草・樹木の剪定作業等を行い、利用者の利便性向上が図られた。	・利用者が安全かつ安心して利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。
	緑と景観の保全		14,282,423		1	都市建設部 街づくり推進課			
	緑が浜公園管理事業		338,667		2	鳥居 伸光			
			14,922,467		3	高い			
			14,282,516		4	高い			
			639,951		5	高い	改善の効果	普通	
56	508004040	谷ノ口公園の運営管理を指定管理委託し、民間の力を活かし、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	7,989,771	○	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。	・公園内の除草、樹木の剪定、施設の清掃・管理を行い、利用者の利便性向上が図られた。 ・経営の安定を図るため、使用料の改定を行った。(R8dから施行)	・利用者が安心して利用できる公園を目指して、適切な維持管理を行う。
	緑と景観の保全		6,426,635		1	都市建設部 街づくり推進課			
	谷ノ口公園管理事業		1,563,136		2	鳥居 伸光			
			7,284,472		3	高い			
			6,422,181		4	高い			
			862,291		5	高い	改善の効果	普通	

No	事務事業コード	事務事業の目的	R6決算額(円)	評価 実 施 判 定	事務事業評価		事務事業の現状と課題 (年度当初)	当該年度中に実施した課題解決や 事務改善に向けた取組の成果	年度以降の課題解決に向けた取組方針 (今後3～5年程度をイメージ)
	施策名		内 直接事業費		1	担当部課名			
	事務事業名		内 人件費		2	評価責任者氏名			
			R7決算額(円)		3	妥当性評価			
内 直接事業費		4	有効性評価						
			内 人件費		5	効率性評価			
57	508004050	臨海緑地の管理を指定管理委託し、民間の力を活かし、利用者が安全で安心して楽しく利用できるように施設管理を行う。	33,862,494	○	事務事業評価		・利用者が安全かつ安心して利用できる公園にするため、適切な維持管理を行う必要がある。 ・管理区域内の松枯れが進行しつつある。	・公園内の除草、樹木の剪定、施設の清掃・管理を行い、利用者の利便性向上が図られた。	・利用者が安全かつ安心して利用できる公園を目指し、適切な維持管理を行う。 ・管理区域内の松枯れの進行を抑制するための対策を図る。
	33,600,356		1		都市建設部 街づくり推進課				
	262,138		2		鳥居 伸光				
	36,120,325		3		高い				
	35,480,374		4		高い				
	639,951		5	高い		改善の効果	普通		
58	508004060	市民の余暇活動等の推進を図る公園施設として、しょうぶ園をはじめ公園内の樹木管理、除草、施設の清掃等を行い、安全で楽しく利用できるよう施設の適正な管理を行う。	10,314,814	○	事務事業評価		市民の憩いの場として快適に利用できる環境を維持するとともに、しょうぶ園など公園の魅力を広く発信し、更なる利用促進を図る必要がある。また、樹木や施設の継続的な維持管理を行い、安全で良好な景観を維持していく必要がある。	市ホームページでしょうぶ等の開花状況を随時配信するとともに、初立池カードの配布を継続し、公園の魅力を広くPRした。また、公園内施設の清掃や樹木管理・除草等を実施し、安全で快適に利用できる環境を維持したことで、公園利用者の利便性及び満足度向上につながった。	公園施設の適切な維持管理を行うとともに、市ホームページ等を活用した情報発信を継続し、公園の魅力向上と利用促進に努める。また、安全で快適な利用環境及び良好な景観の維持に努める。
	7,968,745		1		渥美支所 市民サービス課				
	2,346,069		2		河合 まり子				
	11,830,522		3		高い				
	8,449,446		4		高い				
	3,381,076		5	普通		改善の効果	普通		
59	508004070	公園、緑地、緑道等について、樹木の管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で安心して利用できる施設管理を行う。	127,040,729	○	事務事業評価		公園等を安全に利用できるようにするために、除草、樹木の剪定、老朽化する遊具の修繕など、継続的な維持管理が必要である。	点検の結果、修繕が必要となった遊具や老朽化が進んだ設備等の修繕を行い、適正な管理を行った。	老朽化する遊具や設備等の修繕を行うとともに、植栽帯等の防草対策を進めることで雑草の発生の抑制を図り、安全かつ適正な維持管理を行う。
	100,293,951		1		都市建設部 維持管理課				
	26,746,778		2		渡會 英樹				
	77,575,171		3		高い				
	49,434,036		4		高い				
	28,141,135		5	普通		改善の効果	普通		
60	508004080	公園、緑地、緑道等の樹木管理、除草、トイレ清掃等を行い、利用者が安全で楽しく利用できるよう施設の適正な管理を行う。	22,447,974	○	事務事業評価		利用者が安全かつ安心して公園を利用できるよう適切な維持管理を行っているが、施設の老朽化が進んでいる箇所もあるため、利用状況や危険度を踏まえた計画的な修繕等を進める必要がある。	劣化した施設の補修等を実施するとともに、向山親水水路のデッキ補修工事を行った。これにより、公園施設の安全性及び機能性を維持し、利用者が安心して利用できる環境を確保した。	施設の老朽化状況を継続的に把握し、不具合箇所について迅速かつ計画的な修繕等を実施する。利用者が安全で快適に利用できる環境を維持するため、適切な維持管理を行う。
	4,838,035		1		渥美支所 市民サービス課				
	17,609,939		2		河合 まり子				
	25,489,362		3		高い				
	7,758,235		4		高い				
	17,731,127		5	普通		改善の効果	普通		